

(参考様式第1号)

眺望点関係者説明状況報告書

説明者	氏名	株式会社エコパワーとうみ (担当: ██████████)		
	住所	東御市 281 番地 2		
眺望点	眺望区域	みまき大橋		
	眺望点位置	みまき大橋 36. 3376586, 138. 3484616		
説明を行った関係者等		東御市役所建設課住宅係		
実施日時	令和7年6月17日(火) 15時	説明方法	個別訪問により説明	
出された意見及び対応 (欄が不足する場合は別紙により対応してください)				
番号	意見	配慮・見解		
1	眺望できないため支障ありません。			

※注1 説明に使用した書類を添付してください。

※注2 説明を複数行った場合は、それぞれ本報告書を作成してください。



(参考様式第1号)

眺望点関係者説明状況報告書

説明者	氏名	株式会社エコパワーとうみ (担当: ██████████)		
	住所	東御市 281 番地 2		
眺望点	眺望区域	田楽池		
	眺望点位置	田楽池東側 36. 3129496, 138. 3019909		
説明を行った関係者等		東御市役所建設課住宅係		
実施日時	令和7年6月17日(火) 15時	説明方法	個別訪問により説明	
出された意見及び対応 (欄が不足する場合は別紙により対応してください)				
番号	意見	配慮・見解		
1	眺望できないため支障ありません。			

※注1 説明に使用した書類を添付してください。

※注2 説明を複数行った場合は、それぞれ本報告書を作成してください。



(参考様式第1号)

眺望点関係者説明状況報告書

説明者	氏名	株式会社エコパワーとうみ (担当: ██████████)		
	住所	東御市 281 番地 2		
眺望点	眺望区域	外山城跡		
	眺望点位置	外山城跡西側 36. 3407940, 138. 3348275		
説明を行った関係者等		東御市役所建設課住宅係		
実施日時	令和7年6月17日(火) 15時	説明方法	個別訪問により説明	
出された意見及び対応 (欄が不足する場合は別紙により対応してください)				
番号	意見	配慮・見解		
1	眺望できないため支障ありません。			

※注1 説明に使用した書類を添付してください。

※注2 説明を複数行った場合は、それぞれ本報告書を作成してください。



(参考様式第1号)

眺望点関係者説明状況報告書

説明者	氏名	株式会社エコパワーとうみ (担当: ██████████)		
	住所	東御市県 281 番地 2		
眺望点	眺望区域	県道丸子北御牧東部線		
	眺望点位置	県道丸子北御牧東部線 36.3448737, 138.3317545		
説明を行った関係者等		東御市役所建設課住宅係		
実施日時	令和7年6月17日(火) 15時	説明方法	個別訪問により説明	
出された意見及び対応 (欄が不足する場合は別紙により対応してください)				
番号	意見	配慮・見解		
1	眺望できないため支障ありません。			

※注1 説明に使用した書類を添付してください。

※注2 説明を複数行った場合は、それぞれ本報告書を作成してください。



(参考様式第2号)

行為地周辺地区等説明状況報告書

説明者	氏名	株式会社エコパワーとうみ [REDACTED]
	住所	東御市 281 番地
説明対象とした範囲 (自治会、地区名等) 及び戸数	北御牧地区を中心とした東御市全域 (全 12,564 世帯 (R7.1.1 現在)) 立科町藤沢区 (全 77 世帯 (R7.1.1 現在))	
上記を説明対象とした理由	太陽光発電設備の設置地区、隣接市町村の区であるため。	
住民説明等の方法	住民説明会の開催	
実施日時	令和 7 年 1 月 26 日 (日) 午前 10 時～11 時	
参加又は実施者数 (人もしくは戸数)	12 名 (11 世帯)	
出された意見及び対応 (欄が不足する場合は別紙により対応してください)		
番号	意見	配慮・見解
1	太陽光はよい取組みであると思うが、総発電量の表示など、資料が分りづらい。	分かりやすい資料作成に努める。 想定している年間の発電量は、1 世帯当たりの年間使用量を 4,200kwh とした場合、約 200 世帯分の発電量となる。
2	近隣にある養豚施設への配慮はどうか。	事前に事業の内容や説明会の開催についてお知らせさせていただいた。 当該施設から意見等あれば、真摯に対応したい。
3	隣接する土地で薪割りをやっているが、工事車両の邪魔にならないか。	工事車両 1 台分通していただければ問題ない。改めて調整させていただきたい。
4	この事業は市の計画に基づくものか。	第 2 次東御市地球温暖化計画地域推進計画 (改定版) に基づくもの。
5	第 2 次東御市地球温暖化計画地域推進計画の計画期間は。	令和 2 年から令和 12 年までの計画であり、令和 5 年 3 月改定した。



6	事業はどのように審議され、決定したのか。	庁内の脱炭素化事業推進プロジェクトチームや、民間事業者・有識者等で組織する東御市脱炭素化事業推進協議会で協議し進めている。
7	現時点で太陽光発電設備の計画は他にないか。	野立ての太陽光発電設備は今回のもの以外計画はない。公共施設の屋根への設置は計画している。
8	事業の他の候補地はあったか。	旧田中保育園跡地や羽毛田工業団地、前久保池周辺が候補にあった。
9	農薬は使用するのか。 また、側溝やフェンスはどのように作るのか。	原則農薬は使用せず、草刈りなどで対応する。 排水処理については市のガイドラインに基づき敷地処理を行い、周囲に影響がないように設計している。 フェンスは設置し、容易に立入りができないようにする。
10	設備の監視はどこで行うのか。	東京で遠隔監視を行う。
11	花火大会において、燃えカスが養豚施設に落ちている。この事業実施に伴い、打ち上げ場所がさらに養豚施設側になる。火災などが起きた場合、責任はだれが負うのか。	花火大会は北御牧地区最大の夏祭りである。問題なく大会が実施されるよう配慮する。
12	災害の際に計画地に土砂を搬入していたが、今後はどうなるのか。	市の災害対策本部で検討することとなるが、計画地に搬入することはない。
13	計画に携わっている株式会社アドバンテックの実績は。	2010年から太陽光発電事業を行っており、FITで63箇所160MW以上、非FITで60箇所8MW以上を手掛けている。
14	今回の事業では、なぜFITを使わないのか。	FITを利用すると地産地消にならないためである。 また、環境省の交付金を活用する計画であるが、FIT制度を活用しないことが要件になっている。
15	太陽光発電は農山村の風景にそぐわない。株式会社アドバンテックでは公園などの上に太陽光、下に涼める場所を作るなどといった事例はあるか。	ソーラーカーポートを施工した事例はあるが、構造物に係る費用も含め投資回収しなければならぬため、供給する電力単価が高くなってしまう。
16	総事業費は。	約1億6,000万円と見込んでいる。



17	法令、条令で課題となった点はあるか。	県とも協議をしながら進めており、大きな課題となっているものはない。
18	買電の主体、また売電の主体は。	買電の主体は東御市、売電の主体は株式会社エコパワーとうみである。
19	2箇所の土地のパネル設置前後の流出係数は。	東側の土地は、現状草地であるため、流出係数は0.6～0.7と想定している。設置後は1.0となる。 西側の土地は、現状裸地であるため、流出係数は0.9～1.0と想定している。設置後は1.0となる。
20	問題発生時の責任の所在は。	一義的には株式会社エコパワーとうみである。
21	株式会社エコパワーとうみが発電を行い、東御市が買い取るという理解でよいか。	その通りである。 事業費の1/2が東御市を通して国から交付されるため、半分の費用で施設が設置でき、単価を抑えて電力が供給できる。

※注1 説明に使用した書類を添付してください。

※注2 説明を複数行った場合は、それぞれ本報告書を作成してください。



太陽光発電施設の設置にあたっての配慮事項

項目		配慮事項	配慮した内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	窪地の斜面平場や底面に太陽光設備を設置しますが周囲から見通しにくい場所に設置するため問題ないと判断します。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、必要に応じて完成予想図の作成(シミュレーション)等の実施を検討する。	(※設備配置図に航空写真を貼り付けたものを添付いたします。)
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	下之城979の方は県道40号に隣接しますが、路面から4.0m程度下の平面距離で10m程度離れた場所に設置します。併せて、南西方向に一軒民家がありますが、私道を挟んで平面距離で16.5m程度離れているため、問題ないと判断します。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	2カ所に別けて太陽光発電設備を設置しますが、システム容量が150kWと500kWと小さく、一般的に大規模と言われる1000kWより小さいため、大規模な平滑面が連続する事はありません。併せて、元々の安定した地盤を崩す事はありませんので問題ないと判断します。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	太陽光発電設備は一般的なものを採用しています。最高高は構内柱のGL+12m程度になりますが、施設に1本だけ設置し、径もφ350mm程度と細いため、視線を遮る影響は少ないと判断しています。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	一部が県道40号から見えませんが、設置架台数は全体の12%程度と極力抑えた配置としています。



形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	当該地に応じた架台を選定しており、適切な高さや傾斜になっております。太陽電池モジュールの向きは全て真南を向いておりますので、規則性を持った配置であると判断しています。
	(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	太陽電池モジュールの傾斜角は15度としており、周囲の山並みとの整合をとっています。
	(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	太陽光発電設備の周囲をフェンスで囲うため、周辺道路からは多少見えにくい状況になります。

項目		配慮事項	配慮した内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。	低反射のためにARコート処理を行っています。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。	内容に配慮し、マンセル値7PB 3/0.3の紺色を選択しています。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。 (2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。
付属設備	(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。	派手な色は使用せず、一般的な白のメッシュフェンスを使用します。	
	(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。	電柱については1本のみで、必要最低限にとどめております。	
	(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。	付属設備の配管等は黒を使用します。	
敷地の緑化	(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。	植栽は行いません。	
	(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。	植栽は行いません。	



その他	(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。	低反射モジュールを使用いたします。
	(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。	年次点検を行います。

なお、上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。



1 みまき大橋



3 外山城跡



4 県道丸子北御牧東部線

